最優秀賞

大すきなじかん

鳥取市立福部未来学園　一年　本田　衣理奈

わたしのいえでは、まい日あさかいとよるかいというのをします。あさかいは、おかあさん、いもうと、わたしの三人でします。まず、日づけと天気をかくにんします。つぎに、おかあさんがみんなのきょうのよていをいってくれます。それから、きょうがんばりたいことをみんながいいます。さいごに、にっこりえがおをみんなでします。わたしは、このにっこりえがおが大すきです。あさねむたくても、すこしげん気がないときでも、みんなのえがおを見ると、しぜんと力がわいてきます。さっきまでぐずっていたいもうともわらいます。わたしは、みんなのえがおが大すきです。

よるかいは、おとうさんもときどきさんかします。その日にあったうれしかったことをじゅんばんにいいます。おとうさん、おかあさんがしごとをがんばっていたり、いもうとがほいくえんでともだちとなかよくあそんだりしていることがわかってうれしいです。わたしも学校でそだてているなすやあさがおのようすや、ぎょうかんたいいくでがんばってはしったことなどをはなします。みんなにこにこしてはなしをきいています。

はなすのは、うれしかったことだけではありません。かなしかったことやざんねんだったこともはなします。わたしもときどきかなしかったことをはなします。そんなときは、おかあさんが、「そうかあ。そんなことがあったのかあ。おかあさんもね・・・。」と、おかあさんが小さいときのはなしをしてくれます。おとうさんは、「そんなこともあるある。だいじょうぶだ。」といってくれます。いもうとは、あたまをなでてくれます。すると、うれしくてだんだんこころがかるくなります。わたしといもうとがおとうさん、おかあさんのなやみをきくこともあります。そのときも、「だいじょうぶだよ。」といってあげます。すると、「ありがとう。げん気になるよ。」といってくれます。うれしくて、えがおになります。よるかいのさいごは、みんなで、ぎゅっとだきあいます。とってもあんしんしてゆっくりねむれます。

わたしのいえは、みんながかえってくるじかんがちがうので、いっしょにごはんをたべることはできません。でも、あさかいとよるかいでみんながはなしをきいてくれるし、みんなのはなしがきけます。みんなのえがおが見えます。だから、あさかいとよるかいのじかんが大すきです。これからも、あさかいとよるかいを大じにしたいです。